## リハビリテーション総合実施計画書

計画評価実施日 年 月 日

患者	氏名			男	· 5	ζ	生	年月日 (明	・大・	招∙平	<u>-</u> )	年		月		日(	歳)	利き手	右•右(氣	喬正)・左
主治	医	リハ担当医				РΊ	,	(	TC		5	ST			3/	看護		SW等	•	
					高血圧, 心疾患, 糖尿病等) □起立						起立	症候群 □軽度 □中等度 □重度 リハビリテーション歴 立性低血圧 脈血栓								
日常生活自立度: J1, J2, A1, A2, B1,				   B2, C1, C2   認知症高齢者の日常							日常生									
評価項目・内容(コロン(:)の後に具体的内容を記入)																				
心身機能・構造	□□□□(ス □□ 基本) おおおおおいます 筋不立 平	議障害:(3-3-9: 印症: り障害: 申障害: 区性麻痺 ージ・グレード) 右上肢: 左上肢: 力低下(部位, MMT: <u>有意運動・協調運動障</u> 位保持(装具: 行棒内歩行(装具: 練室内歩行(装具:	Ĕ:	)		手が虫立	, [		□全介	: ) 可 )助	□ 1 □ 2 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1		発言失能能	話障 窓: 障:	害(	□構·		□滐部覚,□失語症)	□その他: (種類:	)
		4.14	_	_				東) 実行状況	兄:「し	ている	5"活剪	功"」	Χ÷	БЬ.				フ:「できる'	'活動"」	
活動		自立度 DL·ASL等	自立		一部介助	介	実	使用用具 杖•装具		<b>勢・実</b> る	行場所	デ 等			部介	全非介態	使用用具 杖•装具	<b>、                                    </b>	実行場所 容 等	
	病棟\ 車椅∃ 椅子區	早降 歩行 <u>化への歩行</u> イレへの車椅子駆動(星) 子・ヘット'間移乗 怪位保持						杖・装具: 杖・装具: 杖・装具: 杖・装具: 具: 具: 装具:									杖·装具: 杖·装具: 杖·装具: 杖·装具: 装具: 装具:			
	食事 排尿( 整衣( 整衣							用具: 便器: 便器: 移動方法·姿: 姿勢: 姿勢: 浴槽:									用具: 便器: 便器: 変勢: 姿勢: 浴槽:			
	·	ニケーション				.),		5子(背もた)	れあり)	,□ <b></b>	奇子(	背もたえ		曲肘う	けあ	b), [	┃	□ベッド上	:, □ギャッチアシ	) ップ°
栄養※	日中座位:□椅子(背もたれなし),□椅子(背もたれあり),□椅子(背もたれ,肘うけあり),□車椅子,□ベッド上,□ギャッチアップ  身長 <sup>#1</sup> :( )cm, 体重:( )kg, BMI <sup>#1</sup> :( )kg/m <sup>2</sup> #1 身長測定が困難な場合は省略可 栄養補給方法(複数選択可):□経口(□食事,□補助食品),□経管栄養,□静脈栄養(□末梢,□中心) 嚥下調整食の必要性:□無,□有(学会分類コード: ) 栄養状態:□問題なし,□低栄養,□低栄養リスク,□過栄養,□その他( )																			
	「問題ない」以外に該当した場合、以下も記入  必要栄養量: ( ) kcal, たんぱく質( )g   総摂取栄養量 <sup>12</sup> (経口・経管・静脈全て含む): ( ) kcal, たんぱく質( )g   #2 入院直後等で不明の場合は総提供栄養量でも可																			
参加																				
心理	障害の受容(□ショック期 , □否認期, □怒り・恨み期, □悲観・抑うつ期, □解決への努力期, □受容期) 機能障害改善への固執(□強い, □中程度, □普通, □弱い)											依存欲求(□強い, □中程度, □普通, □弱い) 独立欲求(□強い, □中程度, □普通, □弱い)								
環境	親族队	司居家族: 親族関係:					6	家屋 : 家屋周囲: 交通手段:												
第三者の	□社□健	こよる家族の変化 :会生活: :康上の問題の発生:																		

基本力	<del>「</del> 針	本人の希望								
		家族の希望								
リスク・	疾病管理(含:過用•誤用)		·//III 王							
リハビ!	リテーション終了の目安・時期	外泊訓練の計画								
	目標(到達時期)		具体的アプローチ							
	退院先 □自宅 □親族宅 □医療機関 □その他:									
<b>→</b>	復職 □現職復帰 □転職 □不可 □その他: (仕事内容:	)								
	(仕事内谷: 通勤方法の変更 □無 □有:	)								
加標	家庭内役割:									
	社会活動:									
	趣味:									
	自宅内歩行 □不可 □自立 □介助:									
	(装具・杖等:	)								
	屋外歩行 □不可 □自立 □介助: (装具·杖等:	)								
	「表兵・な寺・  交通機関利用 □不可 □自立 □介助:	,								
す	(種類:	)								
/	車椅子 □不要 □電動 □手動 (使用場所:	)								
	(駆動 □自立 □介助)(移乗 □自立 □介助:	)								
新 夫	排泄 □自立:形態 □洋式 □和式 □立ち便器 □その他									
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	□介助:									
状 況	食事 □箸自立 □フォーク等自立 □介助:									
	整容 □自立 □介助:									
	更衣 □自立 □介助: 入浴 □自宅浴槽自立 □介助:									
	家事 □全部実施 □非実施 □一部実施:									
	書字 □自立 □利き手交換後自立 □その他:									
	コミュニケーション □問題なし □問題あり:									
心	基本動作(訓練室歩行等)									
身構										
機能造	要素的機能(拘縮・麻痺等)									
心理	機能障害改善への固執からの脱却:									
	自宅改造 □不要 □要:									
環	福祉機器 □不要 □要:									
境	社会保障サービス □不要 □身障手帳 □障害年金 □その他	:								
	介護保険サービス □不要 □要:									
第一	退院後の主介護者 □不要 □要:									
三不者利	家族構成の変化 □不要 □要:									
日 NI の	家族内役割の変化 □不要 □要: 家族の社会活動変化 □不要 □要:									
退院後	家族の任芸店期変化 ロ不要 ロ要: 又は終了後のリハビリテーション計画(種類・頻度・期間)		I .							
~=17L 1/2	MIA									
太人•5	家族への説明 年 月 日本人サイン	宏	族サイン 説明者サイン							

<sup>(</sup>リハビリテーション実施計画書及びリハビリテーション総合実施計画書記入上の注意)
1. 日常生活自立度の欄については、「「障害老人の日常生活自立度 (寝たきり度) 判定基準」の活用について」(平成3年11月18日 老健第102-2号)厚生省大臣官房老人保健福祉部長通知によるランクJI、J2、AI、A2、BI、B2、C1又はC2に該当するものであること。
2. 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準の欄については、「「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」の活用について」(平成5年10月26日 老健第135号)厚生省老人保健福祉局長通知によるランク I、II a、II b、III a、III b、IV 又はMに該当するものであること。
3. 日常生活 (病棟) 実行状況:「している"活動"」の欄については、自宅又は病棟等における実生活で実行している状況についてであること。
4. 訓練時能力:「できる"活動"」の欄については、機能訓練室又は病棟等における訓練・評価時に行うことができる能力についてであること。